



肌に感じる空気は少しずつ自分の体温に近づいてきました。朝、鳥が目覚め歌い出す時間も早まりました。大気の大きな流れにせっせと風や雨がついてきて、季節は足ばやに初夏に向かっている様です。4月に新たに1年生を迎えた学園も新しい季節に入りました。入学おめでとう。ようこそ横浜シュタイナー学園へ。

入学式



やわらかなおひさまの光、暖かい春の風にひらひらりと舞う桜吹雪。家の花壇のチューリップもこの日を待っていたかのように花を咲かせ、たくさんの祝福の下、ハレの日を迎えることができました。

春休みの間、「早く1年生になりたいな…」と呟きながらも、「ちょっとドキドキする…」と、期待と不安を胸に、今か今かと待ちわびていた息子。ゆったりと余裕を持って過ごしたいと思いつつも、試行錯誤しながら最後の最後まで縫っていたクレヨンケース(母)。入学準備を一つ一つしながら、私も心の準備をさせて頂きました。

昨年6月、長女が5年生で転入し、先生方の温かいお導きと優しく愉快的仲間たちの中で、喜びを持って学園生活を送ることができ、感謝の気持ちで一杯です。充実した時間はあっという間に過ぎていき、時に余裕がなく気がかりが先走ることもありましたが、周りの皆様にたくさん助けて頂きながらの約1年間でした。続いて今年は弟の入学。昔からここに居るような、しかしまた新たに始まる不思議な感覚。経験したことのない1年生。長女と共にもう一度出発する機会を頂き、「ようやくスタートすることができた」と、心と体が一致する感覚を覚えました。

式では、大脇先生が子どもの名前を一人ずつ呼んで下さり、春色溢れる花かごを頂いて前に並びました。今までに見たことのない程緊張した表情を見せる子どもたちの姿がとても新鮮で、こちら内ドキドキしながら、小さな天使たちを静かに見守りました。式が終わり、初めての授業をして玄関に降りてきた子どもたち。ホッと安堵したのか、ガチガチだった背中緊張がとれ、顔がほころんでいく瞬間がとても印象的でした。

帰宅してから、息子は式での先生のお話を思い出したようで、「お庭のチューリップも咲いたって言っていたね。うちと同じだね。」と、嬉しそうな顔。式を見守っていた長女は、「いいな、1年生。もう一度1年生から入ってやり直したいな。」と呟いていました。弟を通して傍らで感じていく1年生からの学園生活、その機会を頂いているのだと思いました。

休日を挟んでその夜、翌日の持ち物を確認していると、リュックのポケットの中に、何やら持ち物には書かれていないものがチラリと。すると息子は「見ちゃダメ!」と、ひたすらに隠します。どうしたのだろう…。落ち着いてから話を聞くと、家の花壇のパンジーを摘んで、折り紙で巻いて花束にし、それを袋に入れて大脇先生に渡したいと思ったとのこと。息子の、先生に対する信頼だと思いました。抱っこをすると、「教室がわからなかったらどうしよう…」と涙を溜めて不安な気持ちも吐露され、「お母さんも一緒に行くから大丈夫だよ」と伝え、再度一緒に準備を。しかし翌日、登校してから渡すタイミングがなかなか見つからなかったようで、そのままとなりました(笑)。

改めまして、この学園との出逢いに心から感謝いたします。親子共々、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(1・6年生保護者 土橋澄玲)



4月18日、1年生から5年生までが学ぶ霧ヶ丘校舎の校庭で春まつりを行いました。心配したお天気も、入学したばかりの1年生と過ごす春の特別な時間をあたたかく見守ってくれて、1年生保護者も参観する中、あたたかな春まつりとなりました。

春まつり



新1年生が入学してから一週間が経ち、少しずつ学園にも慣れてきた、そんな暖かな月曜日、横浜シュタイナー学園の春まつりが行われました。朝からお天気が心配されていましたが、お日様が少しだけ顔を覗かせて、春まつりを見守ってくれたおかげで、保護者も校庭で素敵な時間を共有することが出来ました。息子は学園ではどんな様子なのだろうと少し気になっていたのも、保護者の私もこの日をとても楽しみにしていました。

校庭では2年生から4年生までが向かい合って並び、新入生の登場を今か今かと待ち侘びていました。来たよ！来たよ！と前の子から伝言が伝わってくると、おしゃべりを楽しんでいた子どもたちはさっと手でアーチを作り、「歌がひびく」を歌い始めます。まだ幼さが残る、爽やかな歌声がまさに春の軽やかさを感じさせてくれました。

そして、5年生に手を引かれ、小さなかわいらしい1年生たちが校庭に入ってくると、自然とみんなの頬も緩んでしまいました。上級生たちがニコニコと出迎えてくれたので、1年生たちも緊張することなく、笑顔でアーチを潜っていきます。最後は1年生担任の大脇先生を通せんぼする、少しいたずらっ子な一面も見せてくれました。先生の合図があると、待ってましたとばかりに、子どもたちは一斉に校庭に隠されたうさぎと小鳥とひよこを探し始めます。これらの手仕事作品は、毎年上級生から1年生へ送られるフ°レゼン°トです。自分たちが大切に作ったプレゼントを誰が見つけてくれるだろうと、上級生たちもソワソワしながら見守ります。1年生は巧妙にかくれんぼしているひよこを見つけるのに一所懸命でした。それもそのはず、隠した本人たちも隠し場所を忘れてしまうほどなのです！校庭の周りに咲く黄色い木香薷薇の中に隠れたひよこさん、気の根の下に身を潜めるひよこさん。「ひよこはどこだー」「ひよこがいなーい」とあちらこちらから声がします（笑）なかなか見つけられない1年生に

ヒントをあげたいけれどその加減もまた難しいもので、ほとんど答えを言っているようなものなので、見守っている大人たちも思わず笑ってしまいました。子どもたちのキラキラと輝く姿が本当に美しく、思わず「なんて素敵な時間なんだろう。」と心の声が漏れました。

和やかで、楽しい時間はあっという間におわり、無事に全員が探し終えたらみんなで手を取り合い、輪になって「Come Follow」を歌います。私はいつも、子どもたちの歌声には不思議な力があるなと感じています。純粋な魂から出る歌声は、いつも周りの空気を暖かくしてくれるのです。これからの学園生活、何度もこの美しい歌声を聞けるのだと、幸せな気持ちになりました。それから1年生は、3年生保護者の手作りの小鳥パンを受け取り、とても満足そうに教室に帰って行きました。私は、おまつりの間一度も私の元に来ることなく、先生方やお友だちの中で楽しそうにしていた息子を見て、とても安心したのを覚えています。先生方の愛、上級生たちの愛、保護者の皆さんの愛をたくさん受け取って、十分に満たされているしるしだと感じたからです。

その日の帰り道、息子がそっと両手でパンを包んで、小鳥さんかわいいねとうっとりしている様子が可愛らしかったです。（そのあとすぐに頭から豪快にかじりついていたのは、見なかったことに...）息子は次の日も、その次の日も、春まつり楽しかったねと、とても嬉しそうに話していました。この日のためにご尽力下さった皆さん、本当にありがとうございました。これからも、こうして皆さんで春の訪れを喜び合える、この春まつりが受け継がれていきますように。

神さまの巡りあわせで、大脇先生の元に集まってきた14羽の小鳥たち。大脇クラスの小さな小鳥たちには、春の中に隠れた小さな宝物を見つけるようなワクワク、上級生への憧れ、保護者が作る小鳥パンのような素朴な美味しさが詰まった、そんな学園生活を楽しみ、健やかに成長して欲しいと思います。

(1年生保護者 H・T)



横浜シュタイナー学園では、中学生に当たる7年生より、希望により部活に入部することができます。現在は、7つの部活動（運動・音楽・書道・数学・ボードゲーム・野球・料理）があり、放課後の時間を使って活動しています。2021年度まで8年間数学部の顧問を務めてくださり、この度残念ながら退任された足立久美子先生からの報告です。（退任前2022年3月末に寄稿していただきました）

数学部 美しさの中に数学を発見



（図1）素数の糸掛け作品と部メンバー

数学部は8年前の2014年に神田ひとみ先生顧問、8名の部員で、スタートしました。今年度で8年目になります。毎年すべて異なるテーマで取り組んできました。

授業で学ぶこととかぶらないで、7年生から9年生まで一緒に活動にするテーマの選択は私自身の大きな学びの場となりました。

今年度はやる気満々の8年生のみの5名でスタートしました。（図1）

1学期はオリンピックが開催された時期でした。オリンピックエンブレムは日本らしい市松模様の不思議なマークです。藍色の3種類の四角形での構成はどうなっているのか？

好奇心を高めてのチャレンジがポイントでした。この図案は建築家の方が数学的発想で考案されました。（図2）バリエーションでとりくんだのは、エンブレムの中に丸い空白部分が中抜きになっています。その抜かれた丸い部分を3種類の四角形で埋め尽くしてみよう！と各自でチャレンジしてみました。（図3）



図2 エンブレムの分析

次にオリンピックマークの5輪の色は青黄黒緑赤です。なぜこの5色が選ばれたのでしょうか？それは世界中の国旗で使われている色のベスト5なのだそうです。

そこで参加国の206国の国旗に使用されている色を部員で地域別に担当集計して調べてみました。結果、確かにベスト5であることに納得できました。世界の白地図に国旗をはりつける作業を通して、ゴマくらいの小さな島々の国の発見もで

き、世界の旅を楽しみました。最後は、「オリンピックで数学」のエポックノート作りでのまとめを夏休みに完成させました。9月にはエポックノートの発表会をして、それぞれが個性ゆたかにまとめあげられたノートに感動しあいました。あらためてエポックノートをかきこくことの大きな教育的効果を確認することができました。

2学期は素数の糸掛けをしました。8年生の授業ではとりあげていなかったとのことで、担任の先生のご了解を得て取り組みました。釘は銅製48ピン、板はウォルナット燻製焼き風のをみんなで選びました。糸掛けの手順数表をつくり、素数間隔で糸を釘にひっかけていくとすべての釘をたどり出発点にもどることを調べてから作業に入りました。間違えると重なり歪みができすぐに発見でき、ほどいてのやり直しができ、一つのミスもゆるされない世界との対峙が緊張です。完成品は息をのむ美しさにみとれてしまいました。それぞれの色使いで個性が浮き立ち、違いを楽しめました。

3学期は「六句納豆」（むまがりなっとう）と称する建築家の日詰明男先生が考案された竹ひごの回転型立体を作りました。材料は長さ36cmの竹ひご30本です。正12面体をベースにし、中心にはガラスのビー玉を入れました。12本のツノがでた立体なのですが、すぼめると昔の藁納豆になるという変化が好評でした。（図4）



図4 六句納豆の仕組み

今年度は実施できませんでしたが、理科大学数学体験館へ過去3回にわたって、見学体験に行きました。水道橋にある東京理科大学の一角にあります。広い教室スペースに様々な数学モデルがあり、実験しながら考え体験し納得することができます。アシスタントの学生さんの説明がとても面白く、物語風にして、質問したり、予想させたり、数学ファンタジーの世界へと導いて下さり、部員たちの目はきらきらとかがやいていました。学生お兄さんと仲良くなり、帰りには別れがなごりおいしいほどになり、心があつくなりました。

今年度をもって数学部指導担当を退任させていただくことになりました。教えることは学ぶことを実感できた貴重な8年間でした。多くの学びを共有できましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。今後は研究会の仲間にはバトンをお渡しします。

（数学部顧問 足立久美子）

インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

2023 年度入学・転入説明会

【A】「シュタイナー教育とは」「教育内容」

【B】「保護者の学園への関わり」

* A→B の順で両方の回に必ずご出席ください。

6/18(土) 入学説明会 A

6/25(土) 入学説明会 B

9/4(日) 入学説明会 A

9/10(土) 入学説明会 B

9/17(土) 入学説明会 A

9/25(日) 入学説明会 B

詳細は学園サイトにてお知らせします。

校内見学会

学園の雰囲気を感じていただける機会として、校内見学会を実施しております。

教室など校舎内を教員・事務員がご案内します。

日時：5月13日(金) 15:30～1時間半ほど

会場：霧が丘校舎

参加無料(要予約)

お子様連れ可です。*お子様の上履きをご持参ください。

2022 オープンデイ&学園祭

6月11日(土)

今年も、完全予約制で行います。

日頃の教育や教室の様子、体験授業やワークショップなどを、ツアー形式にてご案内、ご体験いただきます。

詳細・お申し込み等は、学園サイトをご覧ください。

連続講座 シュタイナー学校を知りたい!①

「親子で体験オイリュトミー」

日時：5月15日(日) 10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

参加費：1500円(一般)・1300円(NPO会員)

定員：親子10組

対象年齢：年中～小学校2年生まで

(それ以外のお子様はご参加できません)

連続講座の詳細につきましては、学園サイトでお知らせします。

☆星の金貨より☆

涼風書林やイザラ書房の興味深い書籍、アトリエルピナスの季節のポストカード、香りの優しいヴェレダのオイル、美しいシルクや綿の布、手触りのいい木工品など揃えております。

子どもたちが使用しているクレヨンや色鉛筆、エポックノートもごございます。どうぞお立ち寄りください。



お問い合わせ ☆星の金貨
kinka.hoshino7@gmail.com

幼児教育講座①

親子講座(妊婦さん・乳幼児家庭向け講座)

講師：宮地陽子

日時：5月29日(日) 10:00～11:30

場所：霧が丘校舎

定員：15組(乳幼児)

参加費：大人1名につき 1,500円(一般)・
1,300円(NPO会員)

*お子さまは無料

◎NPO正会員・賛助会員の方は、年間パスポート(4,000円)を購入されるとお得です。

詳細は、学園サイトをご確認ください。

～事務局より～

ご寄付ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

東京賢治シュタイナー学校12年生オイリュトミー寄付箱、

手作り品グループ、川島好子、

林ヒロ子、山本忍(神之木クリニック)、

小澤昌弘、内村真澄、岡林睦、星の金貨

学園にお気持ちを寄せてくださり、心より感謝申し上げます。

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel: 045-922-3107

e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(セニキワ店)当座0130702



横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第149号～

2022年4月28日発行

編集： 広報の会

発行： NPO法人 横浜シュタイナー学園

https://yokohama-steiner.jp

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL: 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします